



獨逸
アウグスブルゲル
新聞抄譯

大藏省火
災保險取
調査之印

平田

4084



114
A4319



獨逸

ウグスブルゲル新聞抄譯
羅馬十一月二日通信

大正十一年四月
大隈侯爵邸

當時伊太利ニ於テハ其護國力ヲ強盛ナラシメンニ致
々々リ而メ次回ノ國會ニハ陸軍卿及メ内務卿ヨリ射的
條例草案ヲ出スルニシテ蓋シ政府ノ目的ハ一層内國ノ
士氣ヲ振興シ壯年ノ輩ヲシテ武器ノ取扱ヲ習ハシメ常
備及豫備兵ノ射術ヲ鍛鍊スルニ且ツ常備兵ヲシテ常
其勇氣ヲ保持セシムルニアリ尤未射的ナルモノハ兵學
ノ一科ニシテ決シテ一時ノ遊興又ハ消閑ノ具ト為スベ
キニ非サルナリ抑メ射的ヲ起スノ議ハ世人ノ雄知ニル
如ク曾テカイコリシ氏ノ宰相タリシ時ニ於テ内務卿
アナルデリシ氏ニ出テタルモノニシテ氏ハ此學術ヲ興
起シ殆ント成功ノ域ニ至リシカ爾後參謀部大佐ニシテ

大正十一年四月

一氏、國會議員、狙撃兵大佐、バラチエリ、氏、内務大書記官、
ボナチー、氏、及び曾テ伊太利國ニ体操ヲ興起セシ、アリ、
ウヰ、氏、等、
此射的場ニハ、(一)學校生徒、(二)兵籍ニ屬スルモノ、及、(三)各人、
民随意ニ入場スルヲ得、
下ト四十歳以上即チ既ニ常備軍ニ屬シタルモノト未、
屬セザルモノトノニ級ニ分ツモノトス、凡テ随意兵役、
隊ノ服役ヲ以テ免、特典ヲ得ルハ唯射的ニ熟達セシモノ、
ニ限ルモノニシ、
マシモノニ非サレバ之ヲ許サス、但シ射的ニ熟達セサル、
モノト雖、射的學校ニ於テ、
又幾分ノ特典ニ得、
首府ニ之ヲ設ケ而テ陸軍卿自カラ之ヲ監督スルモノト

ス又區長及々鎮臺長官ヲ其委員トシ以テ之ヲ管理セシ、
ノ且ツ必要ノ武器及々彈藥ハ原價ヲ以テ之ニ給與スベ、
シ○有縣ノ首府ニ於テ其地方廳及々鎮臺ヨリ委員ヲ出、
シ以テ射的事務局ヲ構成スベシ○區郡ノ首地ニ於テハ、
射的人ノ負數ニ應ジテ射的會社ヲ設ケ而シテ其監事ニハ、
之ニ熟達シタル士官ヲ加入スベシ又中學校ニ於テハ、
標及々劍術ト共ニ射的ノ演習ヲナサシムベシ、
中學校ニ於テハ、
シテハ學生ヲシテ兵式ニ倣ヒ隊伍ヲ組ミテ進入セシム、
ルヲアルヘシ又一年毎ニ地方射的會ヲ開キ三年毎ニ全、
國射的會ヲ施行スベシ○各射的學校ハ其中ヲ學校年期、
兵役年期、自由年期ノ三等ニ分クモノトス○該學校ノ費、
用ハ其學生ヨリ細附スニキ税金、郡區並ニ人民ヨリノ出

金及ヒ政府ノ補助金ヲ以テ之ヲ支辨スベシ。凡テ射的
條例ヲ奉守スルニ於テハ又私立射的場ヲ設クルヲ得ベ
シ。

